

令和6年度6月補正予算の概要

令和6年能登半島地震への職員派遣等を受けての防災関連経費、ふれあい広場整備費、個別予防接種事業等に要する経費を計上するとともに、債務負担行為を設定するもの

□一般会計 総額 1,858,000千円

(以下、単位は全て千円)

補正前	補正額	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
341,500,000	1,858,000	343,358,000	1,733,221	124,779

* 歳入予算

		内 容	
1	使用料及び手数料	2,981	学校体育施設使用料 2,981
2	県支出金	900,240	地域密着型サービス等整備助成事業補助金 106,400
			施設開設準備経費支援事業補助金 763,840
			介護職員の宿舎施設整備事業費補助金 30,000
3	繰入金	124,779	財政調整基金繰入金 124,779
4	諸収入	830,000	新型コロナウイルスワクチン接種助成金 830,000

* 歳出予算の主なもの

		主な内容	
1	避難場所等整備事業 (危機管理課)	17,787	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、本市に現在登録されている災害時協力井戸の水量調査等を行うもの
2	災害廃棄物等処理計画改定経費 (廃棄物政策課)	3,800	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、本市における災害廃棄物処理に係る検討を行うもの
3	道路維持管理費 (警防課)	7,396	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、土砂流出やがれき等の撤去を迅速に行うことができるミニホイールローダーを配備するもの
4	消防活動費 (警防課)	8,594	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、消火用水及び生活用水の確保ができる災害用貯水タンクを配備するもの
5	消防団活動費 (警防課)	4,509	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、消防団員の負担軽減及び安全確保ができる安全管そうを配備するもの
6	通信施設維持管理費 (指令課)	29,153	令和6年能登半島地震を契機に判明した新たな課題に対応するため、非常参集した職員で編成する消防部隊の通信手段を確保できるよう、通信手段を有していない車両へ消防救急デジタル無線携帯型移動局を配備するもの

7	ふれあい広場整備費 (市民協働推進課)	41,333	相模大野ふれあい広場の用地を地権者へ返還するため、当該用地の原状復旧工事を行うもの
8	個別予防接種事業 (疾病対策課)	830,000	コロナワクチンの定期接種に係る費用について、令和5年12月に国から示された単価が令和6年3月に訂正されたため、差額分を増額するもの
9	地域密着型サービス等整備費補助金 特別養護老人ホーム等改修費補助金 施設開設準備経費支援事業補助金 (福祉基盤課)	900,240	特別養護老人ホーム等の改修やICT等の導入支援等に係る県補助金が令和6年度も継続されることが示されたため、本市においても県の補助金を活用して各施設への補助を行うもの

*** 債務負担行為の補正**

【追加】

1	緑の休暇村センター、青根緑の休暇村いやしの湯、津久井合唱館指定管理経費 (緑区役所区政策課、津久井まちづくりセンター) 限度額 7,848千円(総額) 期間 令和6年度から令和10年度まで		年度別の支払額を変更するため、債務負担行為を再設定するもの
---	---	--	-------------------------------